



かじおか香織のmanifesto

第9弾

「新しい仕事づくりから始まる やりたいことがある、 やりたいことができているまち」を目指します

完全
無所属



2歳の娘の母

守谷市議会議員 かじおか 香織

民間企業17年の経験と女性管理職の実績を活かし、2歳児の母親としての視点から、子育て世帯に選ばれ続ける守谷を目指し、安定財源を確保したうえで、安全安心の高齢者福祉を実現します。

今こそ、流れを変えるとき！

manifesto 第9弾

【目次 CONTENTS】

- ご挨拶……………1p
- 産業施策の現状の課題と
かじおか香織が実現したいこと…2～3p
- かじおか香織物語・スケジュール等…4p

「新しい仕事づくりから始まる やりたいことがある、 やりたいことができているまち」へ

市議会議員の辞職の時期につきまして

可能な限り、市政のチェック・市政への提案を進めます。

【議員としての活動】

私は選挙の前だけでなく、普段の日常活動として、早朝の駅頭でのビラ配り・議会毎の市政報告会の開催、議会毎の活動レポートの作成・SNSの発信をおこなってまいりました。あくまで普段の議員活動の一環なので、今も何も活動内容は変わっておりません。

【市政チェックをギリギリまで進めます】

現在も進行中の所管の特別委員会や市民相談、議会報告会の出席、式典の参列等々、公務の日程が続いておりますので、選挙だけを考えた場合は、早期に辞職して、選挙に集中した方が有利ですが、私はできる限り、市民の皆さまのお役に立てるよう、市議会議員としての活動を優先してまいります。

【あくまで、地域課題を一つ一つ確認】

政治屋は次の選挙を考えて、政治家は次の世代を考えるとされておりますが、私にとっては、できる限り、子育て中の保護者の方々や年金暮らしのシニアの方々の不安や不満に寄り添って、課題を解決していきたいと考えております。

市民の皆さまお一人お一人に寄り添った温かい市政の実現のために、引き続き、粉骨砕身働いてまいりますので、変わらぬご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

守谷市議会議員「かじおか香織 物語」



常総市宝町出身の父と守谷市本町（奥山新田）出身の母のもとに誕生。両親共に我孫子市役所に勤務する公務員の家庭で生まれ育ちました。共働き世帯であったため、幼少期は奥山新田の祖父母やいとこと過ごすことが多く畑で廃材や布切れを使って秘密基地を作って遊んだり祖父母の畑仕事を手伝ったり、今も変わらない田舎の風景が母の守谷の実家には残っています。



幼稚園は守谷市本町のひかり幼稚園に通い永山小学校ではバトンクラブのリーダーを任せられました。永山中学校から土浦一高に進学し、東京女子大を卒業後、常陽銀行に就職。17年間勤務した常陽銀行最初の赴任地は柏支店で、その後、水海道支店、守谷支店、研究学園都市支店とキャリアを積みました。



銀行での営業成績が評価され13期連続で頭取賞の表彰を受け、最短で支店長代理を拝命。足利銀行でも全営業職に向けて営業研修の講師を務めました。このまま常陽銀行でキャリアを重ねて役員（取締役）を目指すか、それとも守谷市政の改革を目指すか、人生の岐路に立った時、引き止めもあり、迷いましたが…。

『わたくし、かじおか香織は銀行を退職して、守谷市政の改革に取り組む決断をし、17年間勤務した銀行で培った営業力やプレゼン力を活かし、守谷市のニューリーダーとしてトップセールスをおこない更に守谷市のブランド力を高めます。』

●今後のスケジュール

○各地域の対話集会

月 日	会 場	時 間
10月26日(土)	高野公民館	10:00～11:30

是非、お気軽にご参加ください！



Profile

- 昭和57年1月3日生まれ
- 両親ともに公務員の家庭で育つ
- ひかり幼稚園（守谷市本町）卒業
- 取手市立永山小・中学校卒業
- 茨城県立土浦第一高等学校卒業
- 東京女子大学 文理学部 英米文学科卒業
- 元常陽銀行守谷支店 支店長代理
- 営業成績を評価され、13期連続で頭取賞を受賞し、最短で支店長代理を拝命
- 2022年に第一子が誕生し、子育て奮闘中

女性市長と 新しい守谷をつくる会

〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-5
TEL：0297-38-5593
FAX：050-3145-2882
E-mail：office@kaori-moriya.com
Web：https://kaori-moriya.com



QRコードから各種SNSにアクセスできます。



かじおか香織に共感してくださる方、ご支援してくださる方を募集しております。詳しくは下記のお電話・LINE・HPよりお問合せください。

4 かじおか香織物語・スケジュール等

討議資料

ご挨拶 1

かじおか香織が **ずっと住みたくなるまちへ**

実現したいこと

現在の守谷市の地場産業は、右記のような課題をかかえており、
このままの状態が続けば、今後はベッドタウン化が進み、
市内の産業が衰退していく可能性をかかえています。

そこで

**新しい仕事づくりから始まる やりたいことがある、
やりたいことができているまち**を目指して

4つのプロジェクトを進めます

かじおか香織が実現したいプロジェクト **その① 元気な中小企業を増やすこと**

- 中小企業の事業承継・販売力強化の支援強化を行います。現在は市が行っているメインの事業は中小企業への融資あっせんとなっていますが、融資あっせんだけでは事業を長く継続していくことは難しい状況です。また、守谷市においても増加している休廃業を検討する事業者に対して、事業継承できるようにしていきます。
- 様々なSNSを通じて、守谷市の専用サイト「守谷市継業バンク」を開設します。「継いでほしい人」に関する情報を Web サイト上に掲載し、「継ぎたい人」を全国から募集する仕組みを構築します。

実現したいこと

融資あっせんなど、**休廃業を検討する事業者に対して、事業継承できるように**していきます。

様々なSNSを通じて、**守谷市の専用サイト「守谷市継業バンク」を開設**します。



かじおか香織が実現したいプロジェクト **その② 第一次産業の振興**

- 担い手育成、マーケティング、販売力を促進することでの農林業などの第一次産業の振興を行います。
- 現在は農業次世代投資資金として、次世代を担う農業者となることを志向する49歳以下の者に対し、就農準備や経営開始の早期の経営確立を支援する資金を交付していますが、新規就農者に対する支援を強化し、研修受け入れ農家への助成金、新規就農者の農地賃借に対して農地所有者へ賃借料相当額の奨励金を交付、施設型野菜ハウス導入に対する助成、移住・定住促進としての住宅支援などを実施することで担い手不足の解消を目指します。
- 農作物・食品の輸出促進や海外のビジネス展開を支援します。海外のマーケットニーズを調べ、国内マーケットにおける規格外品を海外マーケットにおける高付加価値商品にすることで、新たな販路の確立を目指します。

実現したいこと

新規就農者に対する支援を強化し、担い手不足の解消を目指します。

農作物・食品の**輸出促進や海外のビジネス展開を支援**します。



産業施策の現状の課題

① 商工業

- ・商業の事業所数は平成28（2016）年に408事業所、4,122人の従業員数だったものが令和3年には377事業所、3,652人の従業員数と減少しています。工業では、平成30（2018）年に65事業所、3,710人の従業員数だったものが令和3年には62事業所、3,582人の従業員数と減少しています。
- ・2022年の茨城県「休廃業・解散」動向調査によると、守谷市の休廃業・解散率は、2021年に14件、3.77%だったものが2022年に18件、4.92%となり、県内で7番目に休廃業・解散率が高い自治体となっています。

市区郡	件数	2021年		休廃業・解散率	2022年		休廃業・解散率
		前年比			件数	前年比	
守谷市	14	▲26.3%		3.77%	18	+28.6%	4.92%

② 農業

- ・令和5年度の行政評価において、人・農地プラン事業では「農業者等における協議の場を設け、今後の農地の集積・集約に関して協議を行い、地域計画を策定する」としており、令和6年10月～令和7年3月に地域計画案の取りまとめ・策定予定ですが、地域計画策定の課題では「協議の場を設けても参加者が少なく、農業者の意見を聞くことが難しい」としています。
- また、「次世代を担う農業者となることを志向する49歳以下の者に対し、就農準備や経営開始の早期の経営確立を支援する資金を交付する。」としており、農業次世代投資資金（旧青年就農給付金）受給者人数は、令和3年度まで2人だったが、令和4年度は1人となり、成果の動向として「新規就農相談は何件かあるが、なかなか新規就農に繋がっていない」とあります。

このような状況が続けば

- ・商工業では、事業所数の減少が続き、後継者不足による休廃業が増加することになります。
- ・農業では、新規就農者が1-2人であり、担い手不足に歯止めがかけられない状況です。
- ・守谷市の昼夜間人口比率は、令和2（2021）年に84.7、県内で41位となっています。42位以下は河内町、城里町、利根町であり、茨城県内の市部では最下位です。昼夜間人口比率は100を下回ると流出超過であり、昼間に通勤・通学などで市内を離れる人が多く、つくばエクスプレスで東京方面などに通勤する市民が多いことを示しています。
- ・このままの状態が続けば、ベッドタウン化が進み、市内の産業が衰退していく可能性があります。

かじおか香織が実現したいプロジェクト **その③ 人材育成**

- GX、DX等に対応した中小企業における人材育成を実施します。中小企業DX人材育成に向けたリカレント教育事業を行います。DXリカレント研修を実施したり、市が指定した「AI活用人材育成プログラム」の受講者に対して受講料の一部を補助するなど、中小企業のDX人材育成の推進を図ります。

実現したいこと

中小企業において**DXリカレント研修を実施**したり、市指定のプログラムの**受講料の一部を補助**したりし、**DX人材育成の推進**を図ります。



かじおか香織が実現したいプロジェクト **その④ 働き方改革の推進**

- テレワークなどの働き方改革の推進を行います。守谷市では中小企業のテレワークに関する支援策は、厚生労働省や経済産業省が実施するテレワークに関する導入費用などの助成金を紹介するにとどまっています。
- 市独自にテレワークの導入に取り組む中小企業等を支援するため、テレワークの導入補助として専門家派遣事業を実施します。自社の業務ではテレワーク困難と考え、テレワーク未導入の企業等を対象に、専門家による導入機器の事前相談や機器の購入経費に係る補助金の活用、その後のテレワーク定着までを包括的に支援することで、市内事業所の働き方改革を推進します。

実現したいこと

テレワークなどの働き方改革の推進を行います。

テレワークの導入補助として、**専門家派遣事業を実施**します。

